

PPP/PFI 手法簡易定量評価調書

	従来型手法 (公共施設等の管理者等が 自ら整備等を行う手法)	候補となる PPP/PFI 手法 (DB 方式)
整備等（運営等を 除く。）費用	70.6 億円	66.9 億円
<算出根拠>	類似施設建築単価を基に算出	従来型手法より設計 10%、建設 5% 削減の想定
運営等費用	—	—
<算出根拠>	—	—
利用料金収入	—	—
<算出根拠>	—	—
資金調達費用	1.1 億円	1.1 億円
<算出根拠>	起債充当率 100%、金利 0.1%	起債充当率 100%、金利 0.1%
調査等費用	—	0.2 億円
<算出根拠>	—	アドバイザリー費を想定
税金	—	—
<算出根拠>	—	—
税引後損益	—	—
<算出根拠>	—	—
合計	71.7 億円	68.2 億円
合計（現在価値）	60.4 億円	56.6 億円
財政支出削減率		VFM は 3.8 億円 6.4%
その他 (前提条件等)	—	—